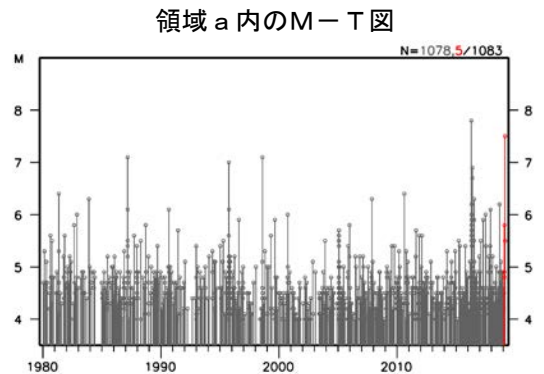
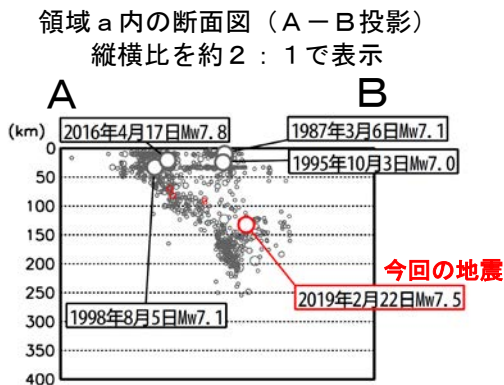
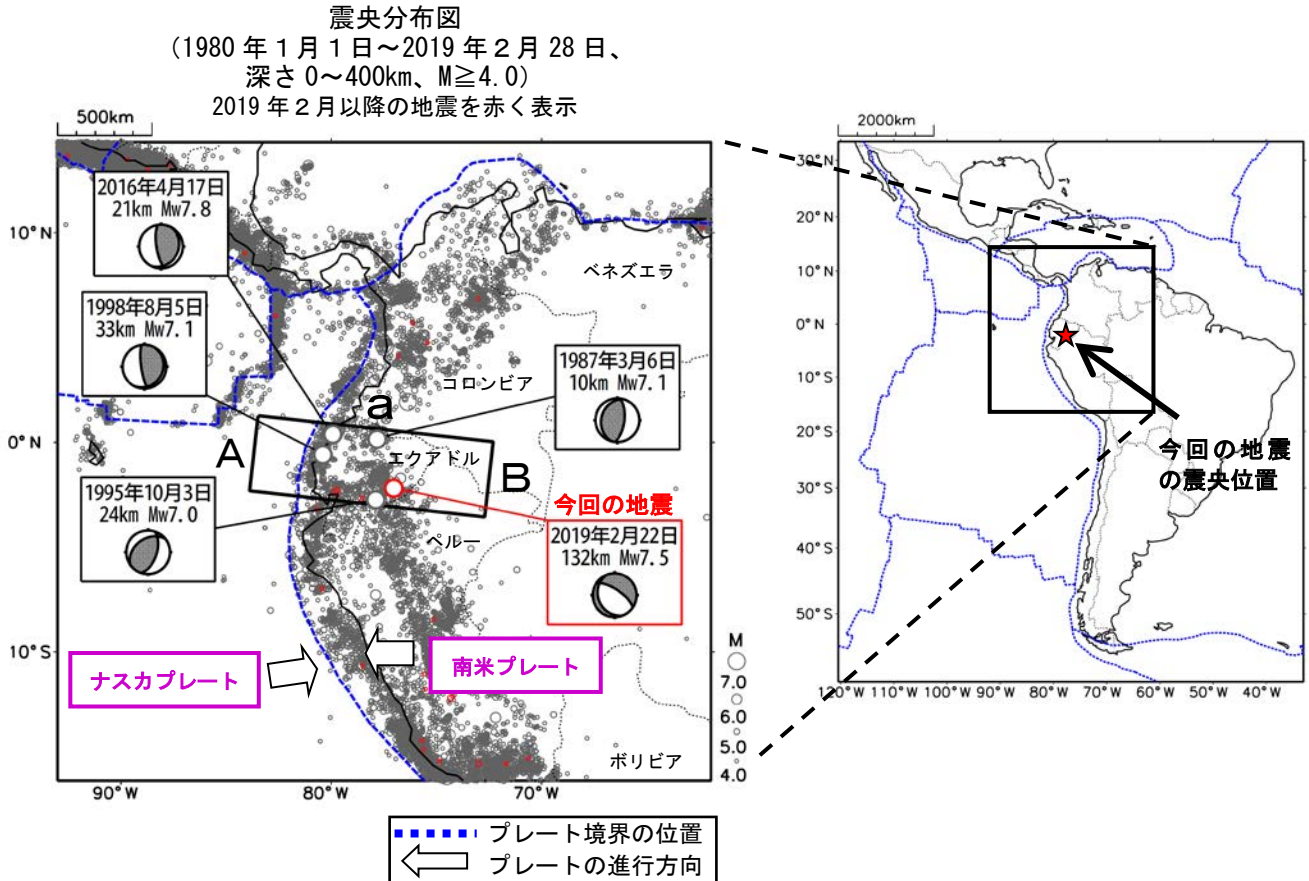


2月22日 ペルー／エクアドル国境の地震

2019年2月22日19時17分(日本時間、以下同じ)にペルー／エクアドル国境の深さ132kmでMw7.5の地震が発生した。この地震は、南米プレートの下に沈み込むナスカプレート内部で発生した。発震機構(気象庁によるCMT解)は、ナスカプレートの沈み込む方向に張力軸を持つ型である。

気象庁は、この地震に対して、同日19時41分に遠地地震に関する情報(津波の心配なし)を発表した。この地震により、負傷者5人等の被害が生じた(2月23日現在、被害は国際連合人道問題調整事務所(OCHA)による)。

1980年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近(領域a)では、M6.0以上の地震が度々発生している。今回の地震の震源付近では、1987年3月6日にMw7.1の地震が発生し、死者5,000人等の被害が生じた。また、エクアドル沿岸では、2016年4月17日にMw7.8の地震が発生し、死者660人以上等の被害が生じた。



※本資料中、今回の地震の発震機構及びMwは気象庁、その他の地震の発震機構及びMwはGlobal CMTによる。また、1980年以降の地震のM及び震源要素は米国地質調査所(USGS)による(2019年2月28日現在)。プレート境界の位置と進行方向はBird(2003)より引用。1987年3月6日の地震の被害は宇津の「世界の被害地震の表」による。2016年4月17日の地震は米国地質調査所(USGS)による。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.